

2016年 100周年YEAR 年間スケジュール大公開!!

1月

4(月) 創立記念日に向けた
カウントダウン
リレー開始

2月

3月

地下鉄西新宿駅
100周年デザイン
大学病院看板
掲出

4月

13(水)
100年目の創立記念日

「歴史史料展示室」OPEN

@教育研究棟(自主自学館)1階

13:00~@八王子手術棟3階講堂

記念講演(医学科新入生向け)

<演者: 森千里氏(曾祖父は本学の建学を支援した森鷗外)>

18:00~@大学病院臨床講堂

全キャンパス中継

第1回特別講演(教職員・学生向け)

<演者: 塩崎恭久氏(厚生労働大臣)>

19:00~@大学病院臨床講堂

中長期計画発表

全キャンパス中継

4月

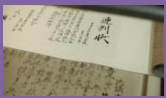
27(水)10:00~
新大学病院起工式



※1 現在の日本医科大学
100年前のこの総退学が、
本学設立のきっかけとなった。

5月

16(月)
日本医学専門学校(※1)
の学生が総退学した日



6月

7月

8月

10月

29(土)~30(日)
百周年東医祭

9月

11(日)
東京医学講習所開講日

(※2)

5(月)~18(日)
新宿西口地下広場に100周年広告
掲出(インテリジェントストリート内 柱広告)

14(水) 18:00~@大学病院臨床講堂

第2回特別講演(教職員・学生向け)

<演者: 野依良治氏(国立研究開発法人科学技術
振興機構研究開発戦略センター長)>

全キャンパス中継

11月

19(土)@ホテルニューオータニ(赤坂見附)
15:00~記念式典 17:00~祝賀会

20(日)@東京オペラシティ(初台)

13:00~記念講演

14:00~演奏会 <東京フィルハーモニー交響楽団>

21(月)@富士ビューホテル(河口湖)

9:30~海外姉妹校・学生交換
提携校による学長サミット

百周年記念誌頒布版(PR版)を
教職員・学生に配付予定

12月

Towards the next
100 years

100周年かわら版



2016
(平成28年)

第12号

発行: 東京医科大学創立
100周年事業広報委員会

事務局: 法人経営企画・広報室

☎03-3351-6141(内線298)

✉keiei@tokyo-med.ac.jp



<http://www.tokyo-med.ac.jp/100years/>



創立100周年を迎える
2016年4月13日まで

あと 44 日

※2 東京医科大学の源流である医学校 100年前に、
東京物理学校(現在の東京理科大学)内に開講した。

連載企画

歴史に学び、
歴史を創る。

看護専門学校特集

第8章 看護専門学校の軌跡



看護専門学校の軌跡

昭和32年(1957)4月、当時、大学病院の病床拡充と外来棟の拡張計画にあたって深刻化していた准看護婦不足を解消するため、「東京医科大学病院附属准看護婦学校」が開校した。その後、さらに正看護婦不足を解消するため、東京オリンピックが開催された昭和39年(1964)に「東京医科大学附属高等看護学校」を開校、昭和53年(1978)に専修学校の設置が認可され、「東京医科大学看護専門学校」に改称された。同年、大学敷地内に基礎新館が完成し、昭和54年(1979)7月に大学病院敷地内の校舎から全面移転した。



大学病院敷地内看護専門学校と学生寮



基礎新館

本学が100周年を迎える節目の年である平成28年(2016)、看護専門学校は3月3日(木)の閉校式をもって、その52年間の歴史に幕を下ろす。しかし、これまでに3,850名の優秀な看護師を輩出してきた看護専門学校の功績は計り知れない。現在、東京医科大学病院で働いている看護師の約半数はその卒業生であり、それ以外にも国内外でたくさんの卒業生が活躍している。その輝かしい伝統は閉校した後も、平成25年(2013)4月に開設した「医学部看護学科」に引き継がれていくことだろう。

「幻の保健師養成課程」

～医学部看護学科教員 春日広美先生 寄稿～

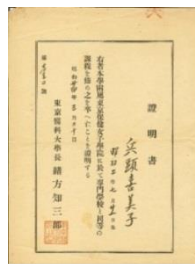
看護専門学校が開校する前、戦後間もない昭和21年(1946)、本学の中に、保健婦教育を行う「東京保健女子学院」が開校したのをご存じだろうか。初代校長は緒方知三郎先生。3年課程で卒業時に保健婦免許が交付された。これは、卒業生の話によると、GHQ主導で検討していた保健師法案を通すために、当時の厚生省厚生技官であった金子光先生(後に看護課長、衆議院議員、日本看護協会会長)と、公衆衛生学教室の初代教授赤塚京治先生が、設置を後押ししてできた学校だった。しかし、保健師法案は廃案へ。

その結果、東京保健女子学院は、昭和26年(1951)、延べ27名の卒業生を輩出して医学部予科とともに閉校された。この間、昭和23年(1948)に保健婦助産婦看護婦法の公布、昭和24年(1949)に保健婦助産婦看護婦養成所指定規則の制定を経て、昭和25年(1950)に第1回看護婦国家試験が実施された。

その後卒業生は、行政保健婦、研究員、保健婦養成所の教員となって公衆衛生行政の発展に寄与。僅か5年で閉校した幻の学校とはいえ、まだ「保健婦」が少なかった時代にこれだけ社会に貢献できたのは東医にとって誇るべきことではないか。

【参考文献】○東京医科大学看護専門学校 五十周年誌
○東京医科大学五十年史 ○東京医科大学七十年史

(監修：東京医科大学図書館)



第1期生の卒業証書

※ご本人の承諾を得て掲載しております。

連載企画 鈴木学長が語る

耳からウロコ Vol.2

「地の利を医の利へ ～63歩で広がる世界～」

世界一の乗降客数を誇る新宿駅。世界最大の都市と言われる東京の都庁。これらに近接して位置する東京医科大学病院。このような立地の大学病院は他にありません。また、新宿は渋谷、池袋と競うように駅周辺の高層ビルや文化施設の整備を進めています。羽田空港からこれら3駅を直線で結ぶ路線の構想もあり、交通の利便性は一層高まります。私のように地方(広島)の勤務が長かった者にとってこのような立地条件は想像をはるかに超えています。

新病院は現病院のように青梅街道から奥まった位置でなく、街道沿いにそそり立つ感じで完成します。またその正面玄関の位置から私の足でもわずか「63歩」で地下鉄西新宿駅入り口の階段に到達することが判りました。改札口に最も近い大学病院といえます。この類まれなる立地は病院や大学の発展に大きく寄与すると思います。何を今さらと言われるかも知れませんが、完成した新病院の威容とそこで働くご自身の姿を、一度青梅街道に立って想像してみられてはいかがでしょう。(学長 鈴木 衛)



長年、耳鼻咽喉科を専門としてきた鈴木学長が現場を回って、その聴力と嗅覚で発見した東京医大のイトコロを紹介。

えんがわ広報。

今年度もあと1ヶ月にやー。



平成25年に50周年を迎えた看護専門学校がこの3月3日をもって閉校します。先日、看護専門学校の事務室を整理していた職員から、大学病院の敷地内に学校があった頃の写真を頂き、今号に掲載しました！そこには高いビルも少なく、古きよき時代の淀橋の様子がありました。あれから30年、今の姿を誰が想像していたのでしょうか。

時代の移り変わりは誰にも止められませんが、看護専門学校が築き上げてきた財産を10年後、20年後も大切に遺していこう！と想いながら、新大学病院建設現場を眺めている私です。皆さんも自分で築き上げてきた財産の継承をこの機会に…。(R)

100周年イメージ
利用開始のお知らせ



TOKYO MEDICAL UNIVERSITY

【利用期間】
平成29年3月まで

データをご希望の方は、法人経営企画・広報室までご連絡ください。(内線298)

3病院最寄駅看板を
100周年仕様に一新

大学病院

平成28年3月～
地下鉄丸ノ内線
西新宿駅

Coming Soon!!



茨城

平成27年7月～
JR常磐線土浦駅



八王子

平成28年1月～
JR中央線高尾駅



JR中央線八王子駅

